

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分含む」)

静岡県立藤枝西高等学校

目 次

事務事業の概要	・・・・・・・・	1
事務執行の根拠法令調	・・・・・・・・	13
学校施設の概要	・・・・・・・・	14
在籍生徒調	・・・・・・・・	16
入学志願者及び入学者数調	・・・・・・・・	16
卒業生の動向調	・・・・・・・・	17
生徒の状況	・・・・・・・・	18
授業料収納状況調	・・・・・・・・	19
県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	・・・・・・・・	20
預金調	・・・・・・・・	21
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	・・・・・・・・	22
委託料等歳出予算執行状況節別集計表（当年度）	・・・・・・・・	22
委託料に関する調	・・・・・・・・	23
負担金支出調	・・・・・・・・	27
建築工事調	・・・・・・・・	29
公有財産調	・・・・・・・・	31
借地借家等調	・・・・・・・・	32
行政財産貸付・使用許可調	・・・・・・・・	33
主要備品調	・・・・・・・・	34
職員調	・・・・・・・・	35
職員の年齢調	・・・・・・・・	38
健康管理	・・・・・・・・	39

事務事業の概要

1 概況

(1) 学校の沿革

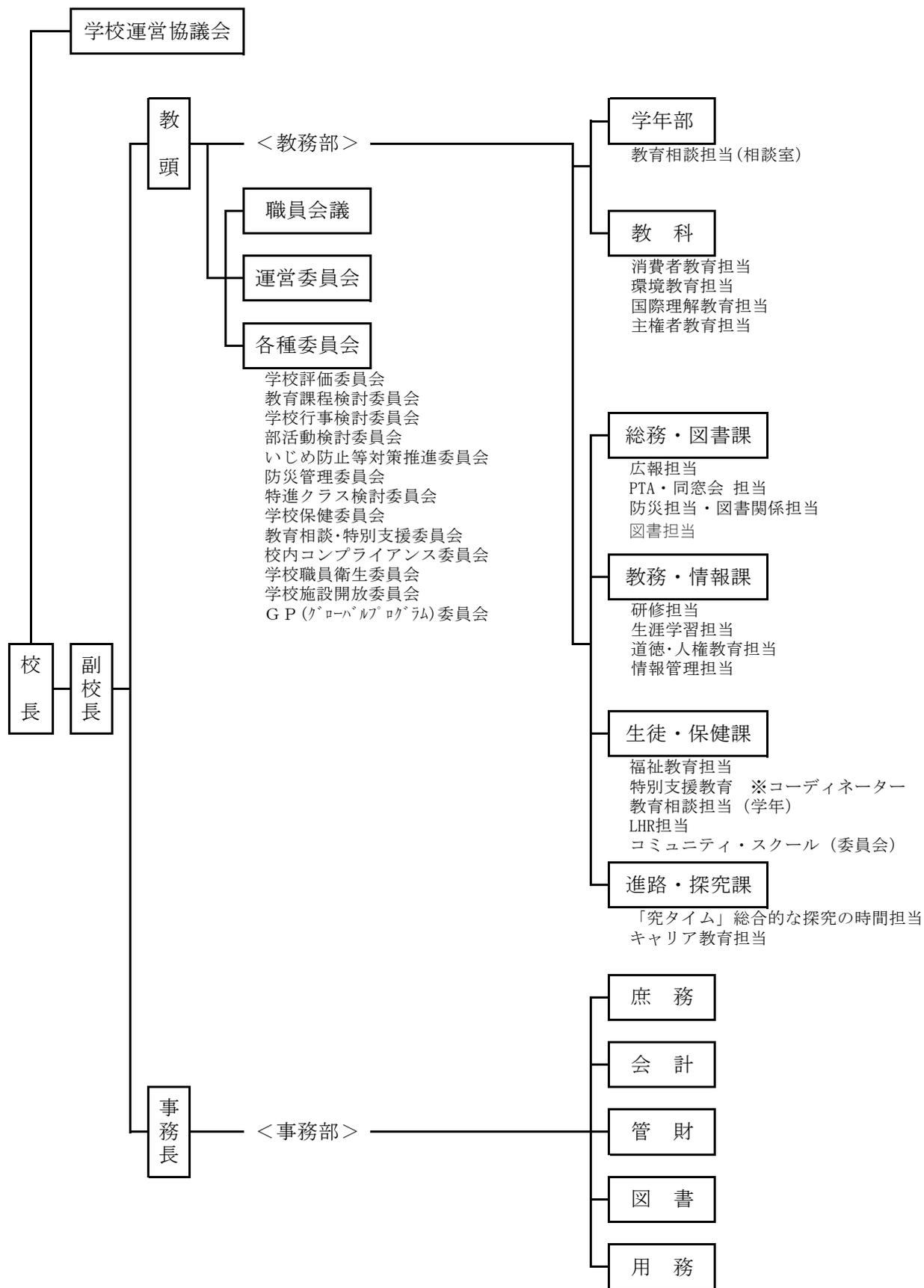
大正7.2.27	静岡県志太郡藤枝町外16ヶ町村学校組合立志太実科高等女学校設置認可
大正7.4.5	藤枝尋常高等小学校校舎の一部を仮校舎に充て授業開始
大正7.11.15	校舎新築落成
大正7.12.10	開校式挙行
大正8.3.29	郡立に移管、静岡県志太郡立高等女学校と改称、本科及び実科設置認可
大正8.11.22	静岡県志太高等女学校と改称
大正9.6.26	補習科設置認可
大正10.10.1	校歌制定
大正11.4.1	静岡県に移管、静岡県立藤枝高等女学校と改称、本科設置
昭和8.10.22	校旗及び校章制定
昭和8.11.23	創立15周年記念式典挙行
昭和9.4.1	専修科設置
昭和10.4.1	専修科を廃して補習科を設置
昭和22.4.1	学制改革により中学校を併設、高等女学校は修業年限5ヶ年に改まる
昭和23.4.1	新学制により、静岡県立藤枝高等学校と改称
昭和23.5.3	創立30周年記念式典並びに高等学校開校式挙行
昭和24.4.1	静岡県立志太高等学校（旧志太中）と統合、静岡県立藤枝高等学校と改称
昭和27.4.1	静岡県立藤枝高等学校東西教場分離独立、静岡県立藤枝西高等学校と改称
昭和28.12.11	学制改正により通常課程普通科となる
昭和30.11.1	本館増改築落成式挙行
昭和31.3.16	校旗改装
昭和36.4.1	校歌制定
昭和36.5.25	本館増築工事竣工
昭和38.11.9	第2運動場竣工
昭和39.3.20	第3昇降所、クラブ室新築
昭和39.10.5	第4棟2教室新築
昭和41.3.27	体育館兼講堂竣工
昭和42.5.25	第2棟木造校舎一部、第1昇降所、雨天体育室等解体 第3棟及び第4棟木造校舎の移築、旧講堂の教室転用工事等開始
昭和43.3.25	鉄筋コンクリート4階建第2棟校舎第1期建築竣工
昭和44.3.20	第2棟校舎第2期、第3棟校舎及び生徒昇降棟竣工
昭和44.7.30	生徒昇降棟と第2棟間造園竣工
昭和44.9.10	第2・3棟間造園竣工
昭和44.10.31	創立50周年並びに校舎落成記念式典挙行

昭和48. 9. 19	プール及び付属施設竣工
昭和53. 10. 30	作法室跡地に同窓会館兼生活館竣工
昭和53. 11. 25	創立60周年記念式典挙行
昭和54. 11. 30	2階建部室竣工
昭和55. 10. 31	第2棟耐震補強工事竣工、鉄骨2階建クラブ室竣工、藤蔭寮解体
昭和56. 3. 25	自転車置場（2階建）竣工
昭和63. 3. 12	第2体育館竣工
昭和63. 11. 25	創立70周年記念式典挙行
平成元. 3. 27	自転車置場竣工
平成6. 9. 2	本校の移転について、知事決裁（移転決定）
平成9. 3. 31	移転先校舎等基本設計完了
平成10. 3. 31	移転先校舎等実施設計完了
平成12. 1. 26	校舎竣工
平成12. 4. 1	現校地に全面移転、男女共学となる 校歌制定 校旗改装
平成12. 10. 27	校舎落成兼創立80周年記念式典挙行
平成17. 3. 25	弓道場竣工
平成20. 11. 14	創立90周年記念式典挙行
平成25. 3. 27	災害用マンホールトイレ設置
平成30. 11. 10	創立100周年記念式典挙行

第1学年生徒定員の変遷

昭和10年	100人	昭和46年	315人	平成8年	280人
昭和25年	200人	昭和57年	270人	平成11年	240人
昭和34年	250人	昭和58年	315人	平成20年	200人
昭和38年	400人	平成元年	360人	平成22年	240人
昭和42年	350人	平成2年	315人	平成23年	200人
昭和43年	336人	平成5年	301人	平成24年	240人
昭和44年	329人	平成6年	294人	平成25年	200人
昭和45年	322人	平成7年	287人	令和3年	160人

(2) 学校組織図



2 目指す学校像

(1) スクール・ミッション

校訓「自律 敬愛」のもと、生徒一人一人の多様な進路希望を実現できる学校として、主体性・協働性を育む多様な学び、豊かな感性と異文化理解の精神を育むグローバルプログラム、コミュニティ・スクール事業などの教育活動を通して、国際的視野を備え、社会に貢献することができる人材の育成を目指す。

(2) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
卒業までに このような力を身に付けます	このような学びを行います	このような生徒を求めています
<ul style="list-style-type: none"> ・何事にも積極的に挑戦する気概を持ち、未来を切り拓く力 ・他者との協働を通して国際的視野を備え、社会に貢献する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の学習を通して「知識や技能」の習得、「思考力、判断力、表現力」及び「学びに向かう自主的な態度」の育成を図る ・総合的な探究の時間やキャリア教育、グローバルプログラム等を通して総合的な学力の向上を図る ・学校行事、生徒会活動、部活動等を通して自律的な態度と自己肯定感の育成を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・校訓（自律・敬愛）に込められた理念への理解ある生徒 ・自らの心身を鍛え、学業や部活動、学校行事に加え、グローバルプログラムやコミュニティ・スクール事業、探究活動等の各種活動に対して主体的、協働的に学ぶ意欲のある生徒

(3) スクール・ポリシー具現化の柱

ア（人間性の育成）

行事、生徒会活動、部活動等を通して、自己有用感を感じ、自己肯定感を高められる教育活動を実現する。

イ（学力の定着）

教師による「授業改善」及び生徒による「学習改善」の充実を図り、確かな学力を育成する。

ウ（進路目標の実現）

キャリア教育の実践等を通して自己理解を深め、生徒一人一人の進路実現を図る。

エ（信頼される学校づくり）

<安全>

学校安全3領域（生活・交通・災害）の意識を高め、生徒の心身の健康や安全に留意した学習環境の充実を図る。

<職員>

教職員の資質向上や危機管理の意識啓発及び働き方改革の推進を図る。

<広報>

学校の理解促進に向け、効果的な情報発信を図る。

オ（地域との連携）

コミュニティ・スクール事業等を通して地域資源を活用し生徒の学びの機会を増やし、地域に関わられた信頼される学校づくりを推進する。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等
 (1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	(人間性の育成) 行事、生徒会活動、部活動等を通して、 自己有用感を感じ、自己肯定感を高められる教育活動を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事、生徒会活動、部活動に積極的に取り組む生徒 80%以上 生徒を承認し、励ます声掛け(ボイスシャワー)を実践する教員 90% 生徒に対する言葉遣い、授業のユニバーサルデザイン化に配慮している教員 90% 学校生活で自分に自信を持てたことがあったと感じる生徒 80% 国際的視野に立ち、物事を考えられるようになったと感じる生徒 70% 読書活動が有意義であると感じる生徒 70% 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事、生徒会活動、部活動に積極的に取り組めた生徒 95.2% 生徒を承認し、励ます声掛け(ボイスシャワー)を実践できた教員 92% 生徒に対する言葉遣い、授業のユニバーサルデザイン化に配慮できた教員 83.1% 学校生活で自分に自信を持てたことがあったと感じた生徒 72.3% 国際的視野に立ち、物事を考えられるようになったと感じた生徒 60.3% 読書活動が有意義であると感じた生徒 80.7% 	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が夢中になって取り組む姿が行事の場面で多く見られた。意図的に、生徒が主体的に取り組む場面や、生徒の意見を汲み取った企画を取り入れ、励ましや承認の声掛けが実践できた現れと捉える 控えめな生徒が多く、失敗を恐れがちではあるが、学年が上がるにしたがい、話を聴く姿勢、安心な雰囲気教室内で醸成されており、失敗しても乗り越えようとする教育活動が展開できた。 国際理解教育(グローバルプログラム)の充実に課題が残った。次年度は、体験を取り入れた企画をシリーズ化するなどプログラムを再構築していく。
イ	(学力の定着) 教師による授業改善及び生徒による学習改善の充実を図り、確かな学力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 相互授業参観に積極的に取り組んだ教員 80% 他教科等の授業参観を通して授業改善に努めた教員 80% 主体的・対話的で深い学びを実践している教員 80% 「授業の内容がよくわかる」と評価する生徒 80%以上 授業を通して教科の興味、関心が高まったと評価する生徒 80%以上 授業においてICT機器を効果的に活用している教員 80%以上 ICT機器を効果的に活用して学習をする生徒 80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 相互授業参観に積極的に取り組んだ教員 93.8% 他教科等の授業参観を通して授業改善に努めた教員 87.5% 主体的・対話的で深い学びを実践できた教員 96.9% 「授業の内容がよくわかる」と評価した生徒 80% 授業を通して教科の興味、関心が高まったと評価した生徒 78.6% 授業においてICT機器を効果的に活用した教員 81.3% ICT機器を効果的に活用して学習した生徒 73.8% 	A	<ul style="list-style-type: none"> 他教科等の授業を参観し、C-ラーニング(校務支援Webシステム)を活用して授業評価、考察を実施した。授業改善に積極的に努め、指導と評価の一体化ができる仕組みを整えることができた。 授業の内容がよくわかる生徒、授業を通して興味関心を高めた生徒が約8割と達成してはいても、2割は困り感があり、関心が薄い状況があることから、今後はICT機器を効果的に活用する中で、個別最適化をより意識することが求められる。
ウ	(進路目標の実現) キャリア教育の実践等を通して自己理解を深め、 生徒一人一人の進路実現を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 「進路情報の提供が適切」と答える生徒 80%以上、保護者の割合 70%以上 進路指導に関して家庭と連携できていると答える生徒 80%以上、保護者 70%以上 自らの進路実現に向かってチャレンジできていると答える生徒 80% 	<ul style="list-style-type: none"> 「進路情報の提供が適切」と答えた生徒 86.6%、保護者 77.0% 進路指導に関して家庭と連携できていると答えた生徒 77.6%、保護者 68% 自らの進路実現に向かってチャレンジできていると答えた生徒 71.9% 	B	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導は各個人、各家庭の考えや希望を実現できるように、学年の進路課担当が工夫をしているが、保護者にまで十分届いていない。情報提供の方法やタイミングを図りたい。 総合的探究の時間での取組が自らの進路選択と結び付けて考える時間となるよう、キャリア教育の実践と絡めチャレンジできる体制を整えたい。

エ	<p>(信頼される学校) <安全> 学校安全3領域(生活・交通・災害)の意識を高め、心身の健康や安全に留意した学習環境の充実を図る。 <職員> 教職員の資質向上や危機管理の意識啓発及び働き方改革の推進を図る。 <広報> 学校の理解促進に向け、効果的な情報発信を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・悩みや不安を話す人や機会があると答える生徒80%以上 ・いじめ、体罰、重大な交通事故件数0件 ・交通事故前年度比10%以上の削減 ・地震や暴風警報発令時等の登校基準を把握していると答える生徒・保護者80%以上 ・施設、設備不具合に起因の事故、けが0件 ・「校舎内外の美化に積極的に取り組んでいる」と答える生徒80%以上 ・定時退勤や時間外業務の縮減を意識する教職員80% ・学校の情報配信が適切であるとする保護者80% 	<ul style="list-style-type: none"> ・悩みや不安を話す人や機会があると答えた生徒89.4% ・いじめ(保護者からの相談1件)、体罰、重大な交通事故0件 ・交通事故前年度比較R5年度13件→本年度6件 ・地震や暴風警報発令時等の登校基準を把握していると答えた生徒67.2%・保護者85% ・施設、設備不具合に起因の事故、けが0件 ・「校舎内外の美化に積極的に取り組んでいる」と答えた生徒79.5% ・定時退勤や時間外業務の縮減を意識する教職員59.4% ・学校の情報配信が適切であるとする保護者96% 	B <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係のトラブルにより、悩みを抱える生徒が相談しやすい体制が整っていることから、上手にカウンセリングを活用し、サポートできるよう各学年チーム支援ができています。 ・教職員の働き方については、時間外業務の縮減が8割に届かなかった。一人当たりの業務量を減らすことはできないため、やり方等を工夫したり削減したりすることで退勤時間に区切りがつけられるよう声掛けを継続していく。 ・保護者からの相談がC-ラーニング(校務支援Webシステム)上で始まってしまふことがある。困り感を拾う便利さの反面、個別の案件についてはWebシステム等の活用ルールについて、保護者を含め徹底する必要がある。
オ	<p>(地域との連携) コミュニティ・スクール事業など、地域資源を活用した生徒の成長の機会の充実により、地域に信頼される学校づくりを推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクール事業や探究活動が自分のためになった、と感じる生徒の割合70% ・学校運営協議会の協議内容を学校運営に活かす。 ・地域と連携した教育活動をしていると感じられる保護者の割合70% 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクール事業や探究活動が自分のためになったと感じた生徒71.5% ・学校運営協議会の協議内容を学校運営に活かした8割。 ・地域と連携した教育活動をしていると感じた保護者93% 	B <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクール事業、探究活動などを通じた人とのつながりや経験が、生徒の将来に役立つように事業の協力体制を整えていく必要がある。 ・学校運営協議会の委員から、コミュニティ・スクール事業が、生徒が主役となって地域コーディネーターと活躍できるような仕組みを整えていく提案をいただいた。

(2) 令和7年度の取組目標(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
ア	<p>(人間性の育成) 行事、生徒会活動、部活動等を通して、自己有用感を感じ、自己肯定感を高められる教育活動を実現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の挑戦する姿勢を励まし、支援することで自主性、主体性を育てる。 ・人権尊重の精神を育成し、敬愛の気持ちを育む。 ・品位ある生徒の育成を図る。 ・豊かな感性、異文化理解の精神を育む取組を充実させる。 ・生徒主体の朝読書を通して主体性を育み、生活リズムの定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事、生徒会活動、部活動に積極的に取り組む生徒80%以上 ・生徒を承認し、励ます声掛け(ボイスシャワー)を実践する教員90%以上 ・生徒に対する言葉遣いや授業のユニバーサルデザイン化に配慮する教員90%以上 ・学校生活で自分に自信を持てたことがあったと感じる生徒80%以上 ・国際的視野に立ち、物事を考えられるようになったと感じる生徒70%以上 ・読書活動が有意義であると感じる生徒70%以上 	<p>全職員 生徒・保健 GP委 総務・図書</p>

イ	<p>(学力の定着) 教師による授業改善及び生徒による学習改善の充実を図り、確かな学力を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員相互による授業参観等を通して授業の質の向上につなげる。 ・アンケートを通して現状を把握し、授業改善を図る。 ・ICT機器の活用、教材の工夫により、主体的な取組を促す。 ・生徒による学習改善により、授業を大切にす姿勢を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相互授業参観に積極的に取り組んだ教員 80%以上 ・他教科等の授業参観を通して授業改善に努めた教員 80%以上 ・主体的・対話的で深い学びを実践している教員 80%以上 ・「授業の内容がよくわかる」と評価する生徒 80%以上 ・授業を通して教科の興味、関心が高まったと評価する生徒 80%以上 ・授業においてICT機器を効果的に活用している教員 80%以上 ・ICT機器を効果的に活用して学習をする生徒 80%以上 	<p>教務・情報 各教科</p>
ウ	<p>(進路目標の実現) キャリア教育の実践等を通して自己理解を深め、生徒一人一人の進路実現を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解を深め、進路実現につながる指導を実践する。 ・進路情報を収集し、全職員で共有するとともに、生徒・保護者へ積極的な情報提供を実践する。 ・一人一人の進路希望を大切に、究タイム等を活用したきめ細やかな進路支援を実施する。 ・高大連携授業等、オープンキャンパスへの参加を促す。 ・国公立大学も含め、年度内入試を有効活用して生徒の進路実現に向けた総合的な支援をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「進路情報の提供が適切」と答える生徒 80%以上、保護者の割合 70%以上 ・進路指導に関して家庭と連携できていると答える生徒 80%以上、保護者 70%以上 ・自らの進路実現に向かってチャレンジできていると答える生徒 80%以上 	<p>進路</p>
エ	<p>(信頼される学校) <安全> 学校安全3領域(生活・交通・災害)の意識を高め、心身の健康や安全に留意した学習環境の充実を図る。 <職員> 教職員の資質向上や危機管理の意識啓発及び働き方改革の推進を図る。 <広報> 学校の理解促進に向け、効果的な情報発信を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内外の連携を密にした取組により、安全・安心な学習環境を整える。 ・校内研修を通して職員の資質向上を図る ・交通安全指導の充実により交通ルールとマナー遵守の態度を育成する。 ・校内や地域での防災訓練を通して、危機管理意識の向上を図る。 ・施設の安全点検を定期的に行い、学校施設の安全性を確保する。 ・清掃活動を充実し、校内美化を推進する。 ・職員の時間外勤務を把握し、業務改善と定時退勤日を推奨する。 ・C-Learning(校務支援Webシステム)等の情報機器を活用して効率的な運営を推進する。 ・学校HPやSNS、西高通信の発行などを通して、効果的に必要な情報を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・悩みや不安を話す人や機会があると答える生徒 80%以上 ・いじめの予防、早期対応に努めた教職員の割合 100% ・体罰、セクハラ等の不祥事件数 0件 ・重大な交通事故件数 0件 ・交通事故前年度比 10%以上の削減 ・地震や暴風警報発令時等の登校基準を把握していると答える生徒・保護者 80%以上 ・施設、設備不具合に起因の事故、けが 0件 ・「校舎内外の美化に積極的に取り組んでいる」と答える生徒 80%以上 ・定時退勤や時間外業務の縮減を意識する教職員 80%以上 ・学校の情報配信が適切であるとする保護者 80%以上 	<p>全職員 生徒・保健 総務・図書 事務室 管理職</p>
オ	<p>(地域との連携) コミュニティ・スクール事業など、地域資源を活用した生徒の成長の機会の充実により、地域に信頼される学校づくりを推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクール事業を通して生徒の学びの機会を確保する。 ・学校運営協議会を開催し、効果的な協議の場とする。 ・地域資源を活用して本校生徒の成長に寄与する活動を行う。 ・地域や保護者との協働、連携により、生徒の教育活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクール事業が自分のためになった、と感じる生徒の割合 70%以上 ・学校運営協議会の協議内容を学校運営に生かす。 ・地域と連携した教育活動をしていると感じられる保護者の割合 70%以上 	<p>全職員 管理職 生徒・保健 総務・図書</p>

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
6年度	<p>「行きたい学校づくり」推進事業の一つの位置づけである探究コンソーシアムの構築事業、志太榛原地区研究協議会にて、本校の「究タイム」の3年間のロードマップの完成を目指す。</p>	<p>現在は、「エナジード（キャリア教育プログラム）」をツールとして使用している。探究の味方・考え方を働かせる糸口として利用してきたが、今後は地域や社会の課題と自己のかわりについて理解を深め、解決策を模索する際に活用の頻度等を考えると、ツールを活用しなくても主体的に考え、自ら関わっていく姿勢や方法を再検討していきたい。</p>
	<p>グローバルプログラムの取組3年目となる。世界情勢について知る「グローバルワークショップ」の企画や、イングリッシュ キャンプですべて英語責けでのALT とのコミュニケーション等、グローバルな視点を広げる。</p>	<p>これまでの手探りで、成果のあった取組を継続しながらブラッシュアップしていくにあたり、参加者の声を拾いながら、また、事前に要望や質問を聴きながら、主体的に企画できる取組となるよう工夫する。</p>
	<p>コミュニティ・スクール事業については、生徒が主役となって地域と協働できるよう、支援している。体験を通じて得たことをCラーニングのレポート記録を残す。また、自分一人の活動ではなく次の参加者につなげていく仕組みをつくりたい。</p> <p>令和6年度については、①小中学生への学習支援「日知塾」を拡大する。②地域美会員会に参画し「花いっぱい」のプロジェクトとして協力する。③ウォーキングサッカーで「サッカーの街100周年」を盛り上げる。</p>	<p>3つの事業は、生徒の興味関心に合わせて希望で行っている。教職員は見守りに徹することで、地域と生徒が主体となって活動が展開できるように、軌道に乗るまでは体制を整えていく必要がある。①「日知塾」に関しては、地域の要望があり会場を増やすこととなった。地域のコーディネーターもはじめての取り組みであるため、必要な連携の仕方を教職員が出すぎないように調整する必要がある。②「花いっぱい」は、地域の人とのふれあいを重視して小物制作をスタートさせたが、様子を見守り次年度に向けて再考する。③「ウォーキングサッカー」は、時間的に地域の小学生等の参加が難しいことはあるが、参加者の反応を見ながら開催日時や広報の在り方を検討し、市役所、地域との連携を深めたい。</p>
7年度	<p>「行きたい学校づくり」推進事業の一つの位置づけである探究コンソーシアムの構築事業、2年目。究タイムの実践を率先して取り組めるように、大学と連携しながら総合的な探究の時間が自身の進路に生かせるよう工夫していく。</p>	<p>探究の担当者が一人で抱え込むことがなくなるよう、1・2年部には学年担当を二人、3年部には一人を配置した。</p> <p>また、探究の主たる担当者がコントロールタワーとなって進路指導と連携できるよう、分掌を変更し「進路・探究課」として本年度から発足した。社会・地域との「連携」を軸に取り組んでいる。</p>
	<p>グローバルプログラムの取組は4年目となる。終日英語責けとなる「イングリッシュキャンプ」をブラッシュアップさせ、他国の言語や文化を学ぶワークショップをシリーズ化して行うなど、委員会で再検討し、1年間通じて体験できるプログラムに企画を再構築した。</p>	<p>昨年度まではコロナ禍の影響が残っており、プログラムとしては期間が空きすぎてしまっていたこと、また英語科教員の担当者だけが準備、実践していたことを反省材料として、委員会で検討した。英語教員だけでなく他科教員も関わり世界情勢について様々な国の文化や人と触れ合う企画や、イングリッシュ キャンプにおいても他校のALT 4人（本校含め5人）に協力いただき、充実したプログラムを用意できた。参加した生徒の満足度も高かった。</p>
	<p>コミュニティ・スクール事業は、生徒が主役となって地域と協働できるように仕組みを整えた。①小中学生への学習支援「日知塾」「おぼたき学習室」②地域美会員会に参画し「花いっぱい」プロジェクト③ウォーキングサッカーや体幹トレーニングなどの体育レクリエーションを実施する。</p>	<p>これまでボランティア的に募集を教員が行っていたが、生徒が主役となって活躍できるよう、学校運営協議会の委員の御意見も踏まえ「CS委員会」を立ち上げた。まだ始めたばかりであるので、教員が先導している場面が多いが、少しずつ教員から生徒（委員長や委員）が主体的に活動に参画できるようにしていきたい。</p>

5 教職員について

(1) 令和6年度異動状況

区分	本 務 職 員						臨時・非常勤職員					計 合
	教頭	教諭	事務長	主査	主任	小計	臨時的任用職員	非常勤講師 (会社任用職員)	部活動指導員 (会社任用職員)	非常勤嘱託員 (会社任用職員)	小計	
転出者	1	2	1	1		5					0	5
退職者		1				1	1	6	2	1	9	10
再任用 (退職)		5				5					0	5
転入者		2			1	3					0	3
新任者	1	1	1			3		6	3	1	11	13
再任用 (任用)		7				7					0	7
差引増減	0	2	0	△1	1	2	△1	0	1	0	2	3

(2) 現員数

(令和7年7月31日現在)

区分	本 務 職 員										会計年度任用職員						合 計
	校長	副校長	教頭	事務長	教諭	養護教諭	実習助手	主査	主任	小計	外国語指導講師	部活動指導員	非常勤講師	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	小計	
男	1	0	1	1	21	0	0	0	0	24	0	2	2	2	0	6	30
女	0	1	0	0	11	1	1	1	1	16	0	1	4	0	1	6	22
計	1	1	1	1	32	1	1	1	1	40	0	3	6	2	1	12	52

(3) 健康管理について

健康管理及び保持のため養護教諭を衛生管理者とし、定期健康診断を実施する。4月結核検診、6月生活習慣病健診、11月までに指定年齢健診、人間ドック、婦人科健診を実施して疾病の早期発見・治療と健康保持増進に努める。脳ドックやVDT作業従事者健診も受診を勧める。診断結果に関する健康管理医の指導により指導区分を決定し、要精密検査者や要治療者には早急に必要な検査・治療を受けるよう個別指導をする。

<令和6年度健康診断実施状況>

項目	対 象 者	対象者数	受診者数
結核検診 生活習慣病健診	全職員（指定年齢健診、人間ドック受診者及び特別休暇中の者は除く）	16	15
指定年齢健診	40歳、45歳、50歳、55歳、59歳	5	5
人間ドック	35、38、41、42、43、44、47、48、49、52、53、54、56、57、58歳及び再任用（フルタイム）で受診を希望する者	18	18
婦人科検診	30歳以上	2	1
脳ドック			1
VDT作業従事者健診			0

※対象者は本務職員 39人 受診率97.4%

<令和7年度健康診断実施状況>

(令和7年7月31日現在)

項目	対象者	対象者数	受診者数	今後受診予定者数
結核検診 生活習慣病健診	全職員（指定年齢検診、人間ドック受診者及び特別休暇中の者は除く）	18	18	1
指定年齢健診	40歳、45歳、50歳、55歳、59歳	5	0	5
人間ドック	35、38、41、42、43、44、47、48、49、51、52、53、54、56、57、58歳及び再任用(ワタム)で受診を希望する者	17	0	17
婦人科検診	4月1日現在30歳以上で偶数年齢の者	3	0	3
脳ドック		0	0	0
VDT作業従事者健診		未定	未定	未定

(4) 教職員の研修について

年度	目的	内容	成果・課題
6年度	研修テーマ「目指す学校像の共有と具現化」	職員会議の最後や長期休業期間の研修の時間などに教職員の対話の時間を設け、これからの社会の在り方や学校の在り方を見据え、本校が目指す学校像を明確にしながらか組織として一体化、具現化を図った。	生徒の進路指導、キャリア教育にかかわる行事をや「究タイム」の一層の充実を図り、年間計画を整えていく。総合的な探究の時間や進路指導、キャリア教育の実践において、全職員がカリマネの視点を持って関わる姿勢を深めた。
	総合教育センター定期訪問における研修「スクール・ポリシーに基づいたカリキュラム・マネジメント」	スクール・ポリシーの具現化の柱として「自己有用感を高められる教育活動の実現」や「生徒一人一人の進路実現を図ること」など目指す方向はグランドデザインとしているが、ミドル層のマンパワーが不足している。より一層カリマネの視点を持って校務の精選・整理が必要であると実感した。	学級減による教職員数の減少により、一人当たりの仕事量が増えており、「多忙感の解消」を実感できる状況にない。 業務の精選は手を抜くことではないという気づきやカリマネの視点で共有し、重複部分を精選することをねらいとした。
7年度	研修テーマ「発達指示的な生徒指導の充実」	生徒が自己有用感を感じ、自己肯定感を高められる教育活動を展開する。 具体的には、授業、行事、生徒会活動、部活動等、様々な場面を捉え、生徒を承認し、励ます声掛け（ボイスシャワー）を実践する。また、授業のユニバーサルデザイン化に配慮して展開する。	職員が人権意識を持ち丁寧な言葉遣いを心掛けるようにしている。 日常では、生徒へのボイスシャワー（励まし、承認の声掛け）を実践している。授業では、ICTの活用等含め、UDを意識して実施ちゅうである。
	総合教育センター定期訪問における研修「発達支持的な生徒指導の充実」	ユニバーサル・デザイン化された授業を実施するためのポイントや生徒への配慮ある声掛け、関係づくりなど、発達に課題を抱える生徒が戸惑うことのないよう伝え方をはじめとした工夫の具体について学年別にグループを作り実施していること、取り入れたいことを自分事として出し合った。	UDが、発達に凸凹がある生徒だけでなく、誰にとっても分かりやすく、伝わりやすい方法であることの理解が深まり、できることから取り組む姿勢が見られた。

6 防災対策について

(1) 基本方針

- ア 人命の安全確保を第一とし、迅速かつ的確な対応を図る。
- イ 教職員の役割分担を確認し、安全確保に全力を尽くす。
- ウ 情報を正確に把握し、迅速な状況判断のもとの的確な指示を行う。
- エ 市や地域の自主防災組織と連携を図り、地域と一体になった対応を行う。

(2) 対策

- ア 校長を委員長とする防災対策委員会（委員 15 人）を中心に防火・防災対策を推進する。
- イ 防災計画書及び危機管理マニュアルを策定する。
- ウ 校舎及び防災用施設の維持管理を行い、各室の管理責任者は、常に安全点検等、設備管理に万全を期する。
- エ 定期的に防災教育及び訓練を実施する。

(3) 地域との連携

- ア 地域防災連絡会議、藤枝西高校地域防災連絡会議(平成 16 年度～)を通して、藤枝市や消防署、周辺自治会等との情報交換及び連携を図る。
- イ 災害時における地域・学校・生徒の役割分担を明確にし、避難所運営を円滑に実施する。
- ウ 地域防災へ積極的に参加する。

<令和 6 年度>

- 6 月 29 日 西益津地区地域防災連絡会
- 9 月 2 日 藤枝市総合防災訓練
- 10 月 12 日 令和 5 年度防災教育推進のための連絡会義
参加者 藤枝市地域防災課 2 人、自治会長 1 人、町内会長 4 人、
町内会防災担当者 4 人、藤枝西高校 4 人（計 15 人）
内 容 ・防災教育について
・「学校警備及び防災計画書」「危機管理マニュアル」の確認

<令和 7 年度>

- 6 月 27 日 西益津地区地域防災連絡会
- 7 月 11 日 令和 6 年度防災教育推進のための連絡会義
参加者 藤枝市地域防災課 2 人、自治会長 1 人、町内会長 4 人、
町内会防災担当者 4 人、藤枝西高校 4 人（計 15 人）
内 容 ・防災教育について
・「学校警備及び防災計画書」「危機管理マニュアル」の確認

(4) 避難及び消火訓練等

<令和 6 年度>

- 6 月 1 日 第 1 回防災訓練
避難経路の確認、大規模地震を想定した避難訓練（学年別、地区別集合及び点呼・確認）
- 8 月下旬 総合防災訓練（生徒参加促進）

- 12月上旬 地域防災訓練（生徒参加促進）
- 12月19日 第2回防災訓練
火災を想定した避難訓練(グラウンドへの集合、点呼・確認)

<令和7年度>

- 4月9日 第1回防災訓練(地区別集合及び点呼・確認)
- 8月下旬 総合防災訓練（生徒参加促進）
- 10月19日 県・藤枝市・焼津市総合防災訓練（生徒参加促進）
- 12月上旬 地域防災訓練（生徒参加促進）
津波訓練については、県や焼津市等から連絡があり次第随時呼び掛ける。
- 12月19日 第2回防災訓練（予定）
火災を想定した避難訓練(グラウンドへの集合、点呼・確認)

7 学校開放について

利用状況		令和6年度			令和7年度(令和7年7月31日現在)		
施設名	利用種目	利用日数 (日)	利用者数 (人)	利用者負担金 (電気料) (円)	利用日数 (日)	利用者数 (人)	利用者負担金 (電気料) (円)
グラウンド	サッカー	17	640	20,283	0	0	0
	野 球	2	80	0	0	0	0
体 育 館	剣 道	20	160	3,361	6	53	1,131
	柔 道	37	370	3,345	11	110	1,125
	空 手	61	1,052	10,887	22	436	3,195

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関すること	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条、第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令 高等学校学習指導要領
2 学校の管理・運営に関すること	学校教育法（137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） いじめ防止対策推進法 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 静岡県手数料徴収条例 静岡県個人情報保護条例 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 社会教育法（第43条、第45条、第47条） 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 静岡県公立高等学校等就学支援金事務処理要領 静岡県公立高等学校等奨学給付金事務処理要領 静岡県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（第9条）

□□□□□□

学校施設の概要

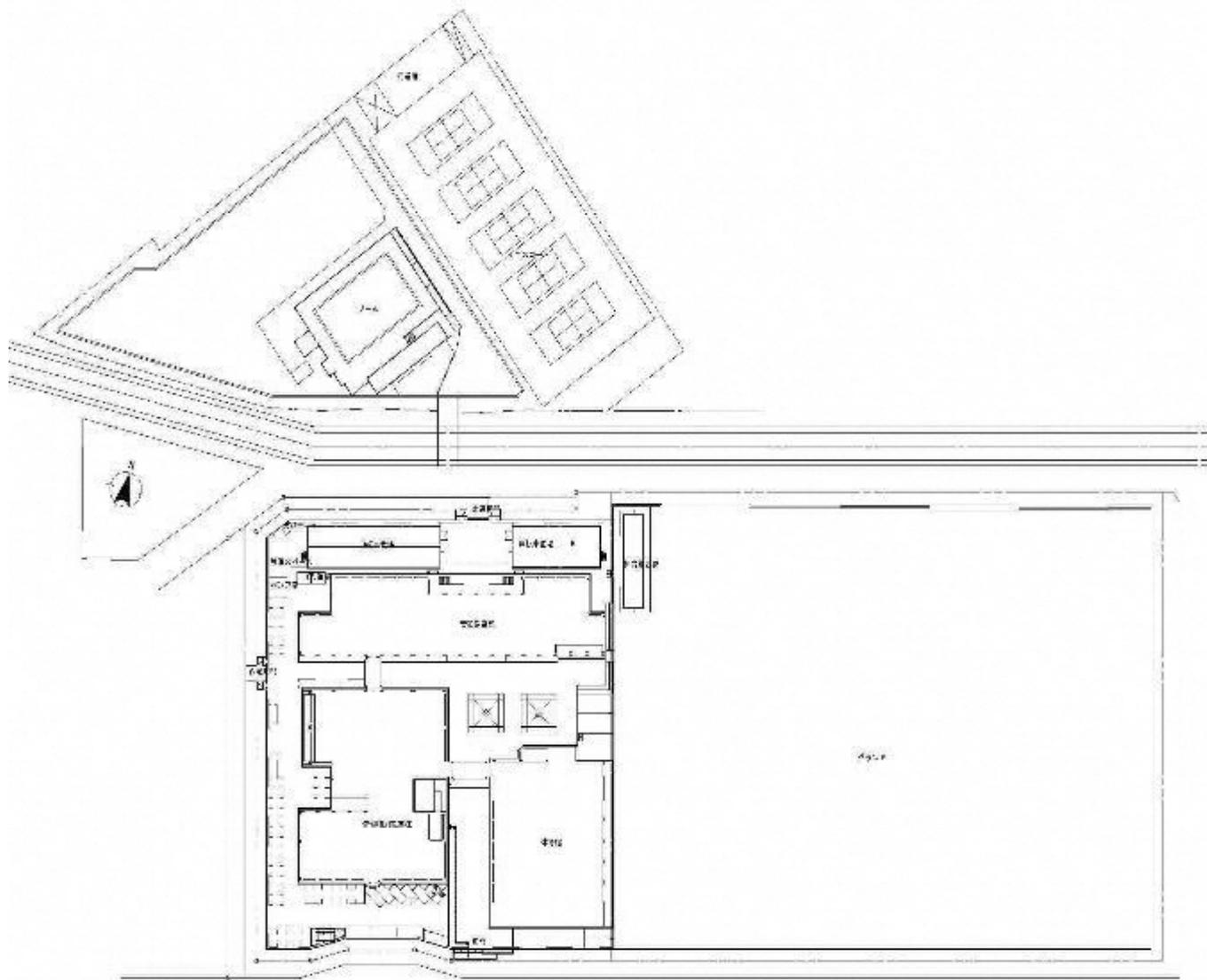
1 面積及び所有区分

(令和7年7月31日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	42,780.47	42,780.47					
内 訳	校 舎 敷 地	11,129.35	11,129.35				
	運 動 場 敷 地	30,643.90	30,643.90				
	そ の 他 の 敷 地	1,007.22	1,007.22				
校 舎	建 3,425.88	3,425.88					
	延 8,566.28	8,566.28					
体 育 館	建 1,415.63	1,415.63					武道場併設
	延 2,699.77	2,699.77					
そ の 他 の 建 物	建 1,269.55	1,269.55					
	延 1,763.41	1,763.41					
プ ー ル	1 個	1 個					25m×16m 8 コース

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	42,780.47m ²	8,566.28m ²	30,643.90m ²
県平均	45,574.48m ²	9,782.41m ²	22,506.84m ²

□□□□□□

在籍生徒調

(令和7年7月31日現在)

学年	学科別		普通科			
	区分		定員	男子	女子	計
1年	入学者		160	81	87	168
		増加				0
		減少				0
	現 在			81	87	168
2年	入学者		160	82	84	166
		増加				0
		減少		4	2	6
	2年時当初			78	82	160
		増加				0
		減少				0
	現 在			78	82	160
3年	入学者		160	80	80	160
		増加			(1)	(1)
		減少		2	(1)	(1)
	2年時当初			78	80	158
		増加				0
		減少		1	1	2
	3年時当初			77	79	156
		増加				0
		減少				0
	現 在			77	79	156
合 計				236	248	484

□□□□□□

入学志願者及び入学者数調

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学 科 別		普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
生徒定員(A)		160	160	160	160	160
募集者数(B)		160	160	160	160	160
志願者数	男	73 ()	75 ()	80 ()	85 ()	96 ()
	女	100 ()	108 ()	80 ()	86 ()	94 ()
	計(C)	173 ()	183 ()	160 ()	171 ()	190 ()
受検者数	男	71 ()	75 ()	80 ()	85 ()	96 ()
	女	100 ()	107 ()	80 ()	86 ()	94 ()
	計(D)	171 ()	182 ()	160 ()	171 ()	190 ()
合格者数	男	70 ()	64 ()	80 ()	81 ()	81 ()
	女	94 ()	101 ()	80 ()	84 ()	87 ()
	計(E)	164 ()	165 ()	160 ()	165 ()	168 ()
志願倍率(C)/(B)		1.08	1.14	1.00	1.07	1.19
受検倍率(D)/(B)		1.07	1.14	1.00	1.07	1.19
入学者数	男	70	64	80	82	81
	女	94	101	80	84	87
	計(F)	164	165	160	166	168
充足率(F)/(A)		1.03	1.03	1.00	1.04	1.05

(注) 本表は、高等学校において、監査実施年度の4月1日現在で調製する。

□□□□□□

卒業生の動向調

1 進路状況

学 科 別		普 通 科			
年 度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
卒業生徒数		165	155	159	
内 訳	(進学志願者)		(165)	(148)	(157)
	進 学 者	大学・短大	129	117	117
		専修・各種学校等	34	31	38
		小 計	163	148	149
	就 職 者		0	5	1
	自 営 者		0	0	0
	進 学 準 備 者		2	2	3
	そ の 他		0	0	0
合 計		165	155	159	

2 求人状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就職希望者数	0	1	1
求 人 数	0	1	1
求人倍率	0.00	1.00	1.00

3 資格取得状況

(令和6年度)

学科別	普通科		
卒業生徒数	159		
資格の取得状況 (種類別)	実用英語技能検定	2級	34
	〃	準2級	61
合 計			95

(注) 本表は高等学校において監査実施年度の4月1日現在で調製する。

□□□□□□

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地

(令和7年7月31日現在)

市町名	藤枝市	焼津市	島田市	吉田町	その他	合計
生徒数	294人	177人	9人	3人	1人	484人
構成比	60.7%	36.6%	1.9%	0.6%	0.2%	100%

(2) 通学方法

(令和7年7月31日現在)

区分	自転車	交通機関	その他	合計
生徒数	469人	8人	7人	484人
構成比	96.9%	1.7%	1.4%	100%

2 部（クラブ）の加入状況

(令和7年7月31日現在)

区 分		運 動 部	文 化 部	未加入者	計
部（クラブ数）		10	4		14
男子	1 年	71人	6人	4人	81人
	2 年	57人	11人	9人	77人
	3 年	56人	18人	3人	77人
	計 (A)	184人	35人	16人	235人
	構成比	78.3%	14.9%	6.8%	100%
女子	1 年	51人	33人	3人	87人
	2 年	41人	34人	8人	83人
	3 年	48人	27人	4人	79人
	計 (B)	140人	94人	15人	249人
	構成比	56.2%	37.8%	6.0%	100%
合計	(A)+(B)	324人	129人	31人	484人
	構成比	66.9%	26.7%	6.4%	100%

□□□□□□

(全日制)

授 業 料 収 納 状 況 調

(令和6年度)

期 別	月 別	調定の状況								収納の状況				異動者等の状況
		1年		2年		3年		計		納期内収納額		納期後 収納額	収 入 未済額	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	円	%			
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A. 期首収納権利発生額 = 2,970,000円 (100人×9,900円×3月 = 2,970,000円) B. 収納権利増減額 = ▲19,800円 4月30日:3年:転学▲1 2月×9,900円×1人 = ▲19,800円 C. 収納必要(A+B)額 = 2,950,200円
	5													
	6					1	9,900	1	9,900	9,900	100.0	0	0	
	7	29	861,300	33	980,100	37	1,098,900	99	2,940,300	2,910,600	99.0	0	29,700	
	8											29,700	0	
	計	29	861,300	33	980,100	38	1,108,800	100	2,950,200	2,920,500	99.0	29,700	29,700	
二 期	9													A. 期首収納権利発生額 = 5,197,500円 (105人×9,900円×5月 = 5,197,500円) B. 収納権利増減額 = 0円 C. 収納必要(A+B)額 = 5,197,500円
	10	30	1,485,000	35	1,732,500	40	1,980,000	105	5,197,500	5,197,500	100.0	0	0	
	11													
	計	30	1,485,000	35	1,732,500	40	1,980,000	105	5,197,500	5,197,500	100.0	0	0	
三 期	12													A. 期首収納権利発生額 = 4,078,800円 (103人×9,900円×4月 = 4,078,800円) B. 収納権利増減額 = 0円 C. 収納必要(A+B)額 = 4,078,800円
	1	30	1,188,000	35	1,386,000	38	1,504,800	103	4,078,800	3,960,000	97.1	0	118,800	
	2											118,800	0	
	3													
	計	30	1,188,000	35	1,386,000	38	1,504,800	103	4,078,800	3,960,000	97.1	118,800	118,800	
合計	89	3,534,300	103	4,098,600	116	4,593,600	308	12,226,500	12,078,000	98.8	148,500	148,500	収納必要額 = 12,226,500円	

(全日制)

授 業 料 収 納 状 況 調

(令和7年度)

(令和7年7月31日現在)

期 別	月 別	調定の状況								収納の状況				異動者等の状況
		1年		2年		3年		計		納期内収納額		納期後 収納額	収 入 未済額	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	円	%			
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	
	5													
	6													
	7													
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	

□□□□□□□

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和6年度	令和7年7月31日現在
	件 数	件 数
高等学校入学検定料	201	0
計	201	0

□□□□□□□□

預 金 調

(令和7年7月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘 要
静岡銀行 藤枝支店	無利息型 普通預金	0004905	藤枝西高等学校 資金前渡者 竹村 祐	0	職員給与用
静岡銀行 藤枝支店	無利息型 普通預金	0352773	(自振口)藤枝西高等学校 資金前渡者 竹村 祐	0	公共料金 振替用
残 高 合 計				0	

□□□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	左のうち、5年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		1,599,422	
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		2,110	
計					1,728,888	1,601,532	0
(14) 工事請負費						0	
計					2,420,000	0	0
(16) 公有財産購入費						0	
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		178,200	
					895,400	178,200	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		45,100,500	
計					45,623,200	45,100,500	0
(21) 補償、補填及び賠償金						0	
計					0	0	0

様式第10号-3

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年7月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						左のうち、令和6年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	439,450	
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	492	
計					439,942	0
(14) 工事請負費					0	
計					0	0
(16) 公有財産購入費					0	
計					0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	534,600	
					534,600	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	11,575,500	
計					11,575,500	0
(21) 補償、補填及び賠償金					0	
計					0	0

委 託 料 に 関 す る 調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	契約金額				契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
			当初設計金額	当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) エレベータ保守点検業務	日本オーチス・エレベータ(株)静岡支店	円	円	円	円	自 随契 R6. 4. 1 至 R7. 3. 31	R6. 5. 21	115,830	エレベータ(1~4階)1基のフルメンテナンス契約	随契1号(少額)	
								R6. 6. 21	45,870			
								R6. 7. 22	45,870			
								R6. 8. 22	45,870			
								R6. 9. 24	45,870			
								R6. 10. 21	45,870			
								R6. 11. 21	45,870			
								R6. 12. 23	45,870			
								R7. 1. 21	45,870			
								R7. 2. 21	45,870			
				R7. 3. 21	45,870							
				R7. 4. 21	45,870							
			620,400	620,400	0	620,400		小計	620,400			
2	可燃物収集運搬処分業務	環境のミカタ株式会社	運搬料(1回)	運搬料(1回)		運搬料(1回)	自 随契 R6. 4. 12 至 R7. 3. 31	R6. 5. 23	35,785	藤枝西高校ほか5校可燃物収集運搬処分業務	随契1号(少額)単価契約 藤枝特支分校 焼津水産高 焼津中央高 藤枝東高 藤枝北高	
			15,000円	8,140円	0	8,140円		R6. 6. 21	46,420			
			処分料(1kg)	処分料(1kg)		処分料(1kg)		R6. 7. 22	42,385			
			13.30円	15.40円		15.40円		R6. 8. 22	41,646			
								R6. 9. 24	30,795			
								R6. 10. 21	41,184			
								R6. 11. 21	41,415			
								R6. 12. 23	52,173			
								R7. 1. 21	46,497			
								R7. 2. 21	44,171			
				R7. 3. 21	42,431							
				R7. 4. 30	32,505							
			概算 949,190	概算 574,640	0	概算 574,640		小計	497,407			
3	自家用電気工作物保安管理業務	松永電気保安管理事務所 松永清	384,725	384,725	0	384,725	自 随契 R6. 4. 1 至 R7. 3. 31	R6. 5. 21	29,975	自家用電気工作物保安管理業務	随契1号(少額)	
								R6. 6. 21	29,975			
								R6. 7. 22	29,975			
								R6. 8. 22	29,975			
								R6. 9. 24	55,000			
								R6. 10. 21	29,975			
								R6. 11. 21	29,975			
								R6. 12. 23	29,975			
								R7. 1. 21	29,975			
								R7. 2. 21	29,975			
				R7. 3. 21	29,975							
				R7. 4. 21	29,975							
			384,725	384,725	0	384,725		小計	384,725			
4	産業廃棄物収集運搬処分業務	(株)アドバンス中部サービス	99,000	99,000	0	99,000	自 随契 R7. 1. 7 至 R7. 2. 28	R7. 3. 18	99,000	混合廃棄物8㎡	随契1号(少額)	
事務関係 計		4件	2,053,315	1,678,765	0	1,678,765			1,601,532			
工事関係 計		0件	0	0	0	0			0			
合計		4件	2,053,315	1,678,765	0	1,678,765			1,601,532			

(参考)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	消防用設備等保守点検業務	消防設備保全㈱	円	円	円	円	自 R6. 4. 1 至 R7. 3. 31	円	円	藤枝北高校ほか6校消防用設備等保守点検業務	藤枝北高	
2	プール浄化装置保守点検業務	大学産業㈱	円	円	円	円	自 R6. 4. 4 至 R6. 12. 20	円	円	焼津中央高校ほか5校プール浄化装置保守点検業務	焼津中央高	
3	警備業務	セコム㈱	円	円	円	円	自 R1. 10. 1 至 R6. 9. 30	円	円	藤枝東高校ほか6校機械警備	藤枝東高	
4	警備業務	セコム㈱	円	円	円	円	自 R6. 10. 1 至 R11. 9. 30	円	円	藤枝東高校ほか6校機械警備	藤枝東高	
5	建築基準法第12条に基づく定期点検業務	青島彰一級建築士事務所 青島彰	円	円	円	円	自 R6. 10. 1 至 R7. 1. 31	円	円	藤枝東高校ほか6校建築基準法第12条に基づく建築及び建築設備の点検業務	藤枝東高	
合計	5件			28,061,000	699,426	28,760,426						

□□□□□□

委 託 料 に 関 す る 調

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) エレベータ保守点検業務	日本オーチス・エレベータ株式会社 静岡支店	円	円	円	円	自 R7.4.1 至 R8.3.31 随契	R7.5.30 R7.6.30 R7.7.31	円	115,830 45,870 45,870	エレベータ(1~4階)1基のフルメンテナンス契約	随契1号(少額)
			620,400	620,400	0	620,400						
2	可燃物収集運搬処分業務	環境のミカタ株式会社	運搬料(1回) 9,020円 処分料(1kg) 15.40円	運搬料(1回) 9,020円 処分料(1kg) 15.40円	0	運搬料(1回) 9,020円 処分料(1kg) 15.40円	自 R7.4.11 至 R8.3.31 随契	R7.5.30 R7.6.30 R7.7.31	円	33,567 48,184 46,952	藤枝西高校ほか5校可燃物収集運搬処分業務	随契1号(少額)単価契約 藤枝特支分校 焼津水産高 焼津中央高 藤枝東高 藤枝北高
			概算 581,680	概算 581,680		概算 581,680						
3	自家用電気工作物保安管理業務	松永電気保安管理事務所 松永清	422,840	422,840	0	422,840	自 R7.4.1 至 R8.3.31 随契	R7.5.30 R7.6.30 R7.7.31	円	33,440 33,440 33,440	自家用電気工作物保安管理業務	随契1号(少額)
			422,840	422,840		422,840						
事務関係	3件		1,624,920	1,624,920	0	1,624,920				436,593		
工事関係	0件		0	0	0	0				0		
合計	3件		1,624,920	1,624,920	0	1,624,920				436,593		

(参考)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	消防用設備等保守点検業務	消防設備保全㈱	円	円 8,030,000	円 0	円 8,030,000	自 R7.4.1 至 R8.3.31	円	円	藤枝北高校ほか6校消防用設備等保守点検業務	藤枝北高	
2	プール浄化装置保守点検業務	大学産業㈱	円	円 297,000	円 0	円 297,000	自 R7.4.4 至 R7.12.19	円	円	焼津中央高校ほか5校プール浄化装置保守点検業務	焼津中央高	
3	警備業務	セコム㈱	円	円 10,692,000	円 0	円 10,692,000	自 R6.10.1 至 R11.9.30	円	円	藤枝東高校ほか6校機械警備	藤枝東高	
	合計	3件		19,019,000	0	19,019,000						

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	全国高等学校長協会総会・研究協議会	4,000	R6.5.7
2	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	開催要項による	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会研究発表・研究協議会	2,000	R6.7.31
3	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第Ⅰ期分383名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	11,375,100	R6.7.31
4	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第Ⅱ期分378名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	18,711,000	R6.10.31
5	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第Ⅱ期分1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	転学に伴う過納分授業料の戻入	9,900	R6.11.22
6	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第Ⅱ期分1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	9,900	R6.12.25
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(家計急変1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	9,900	R7.1.20
8	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第Ⅲ期分378名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	14,939,100	R7.1.31
9	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(家計急変1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	R7.1.31
10	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第Ⅱ期分1名分、第Ⅲ期分1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	R7.2.25
計		10件			45,120,300	

負担金支出調

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

整理 番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担 金額	支出 年月日
1	全国高等学校長協会 総会・研究協議 会参加費	全国高等学校 長協会	開催要項 による	全国高等学校長協会総 会・研究協議会	4,000	R7.4.30
2		日本産業廃棄 物処理振興セ ンター	開催要項 による	特別管理産業廃棄物管理 責任者講習会	13,200	R7.5.13
3	東海四県高等学校 長生徒指導連絡協 議会参加費	東海四県高等 学校長生徒指 導連絡協議会	開催要項 による	東海四県高等学校長生徒 指導連絡協議会研究発 表・研究協議会	2,000	R7.7.9
4	東海地区学校図書 館研究大会静岡大 会参加費	東海地区学校 図書館研究大 会運営委員会	開催要項 による	東海地区学校図書館研究 大会静岡大会	3,000	R7.7.14
5	高等学校等就学支 援金	全日制高等学 校授業料 (第I期分291 名分)	高等学校 等就学支 援金の支 給に關す る法律	高等学校に在籍する生徒 の授業料に充てる	11,553,300	R7.7.31
計		5件			11,575,500	

□□□□□□

建 築

*令和6年度は該当なし

整理番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設 計 金 額	契 約 金 額			契約締結方法
					当 初 額	変 更 増 減 額	計	
1	教育管理費	令和7年度 藤枝西高等学校 ポンプ室(北) 井水送水ポンプ更新工事	藤枝市 立花地内	円 1,705,000	円 1,705,000	円 0	円 1,705,000	一般
		合 計	1 件	1,705,000	1,705,000	0	1,705,000	

(参考)

整理番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設 計 金 額	契 約 金 額			契約締結方法
					当 初 額	変 更 増 減 額	計	
1	教育管理費	令和6年度 藤枝西高等学校 トイレ洋式化工事	藤枝市 城南地内	円 30,492,000	円 27,940,000	円 未定	円 27,940,000	一般
		合 計	1 件	30,492,000	27,940,000	0	27,940,000	

*令和7年度は該当なし

工 事 調 査

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

受注者	着手 完成(予定) 年月日	支出済額	工事概要	公有財産 台帳	摘要
株式会社 エクノスワタナベ	着手 R7.7.28 完成 R7.11.28	円 0	井水送水ポンプ更新工事 井水送水ポンプ フレキシブルジョイント/バルブ/逆止弁 サクシオンユニット フート弁/有圧換気扇/矩形ダクト 更新 保温工事/電源接続 既設品処分	—	令達年月日 R7.7.14 支払年月日 — 随契1号 (少額)
		0			

(令和6年度)

受注者	着手 完成(予定) 年月日	支出済額	工事概要	公有財産 台帳	摘要
株式会社 増商	着手 R6.6.18 完成 R6.12.9	円 11,170,000	普通教室棟、管理特別教室棟のトイレ洋式化 (41基)	—	令達年月日 R5.9.13 支払年月日 R6.2.7 随契1号 (少額)
		11,170,000			

□□□□□□

公 有 財 産 調

(令和6年度)

区分	令和6年3月31日 現在		増		減		令和7年3月31日 現在		摘要
	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	
行政財産		千円 3,302,868		千円		千円 60,090		千円 3,234,762	
土地	m ² 42,780.47	2,194,378					m ² 42,780.47	2,194,378	
立木竹	本 266	8,833					本 266	8,833	
建物	m ² 6,111.06 13,029.46	1,051,618	m ²		m ²	53,249	m ² 6,111.06 13,029.46	998,369	価格改定
工作物	個 103	40,023	個		個 3	6,841	個 100	33,182	価格改定
公有財産に 準ずるもの		103						100	
電話加入権	件 6	103				3	件 6	100	

令和7年度 増減なし

借地借家等調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又 は面積	借 料		契約 期間	所有者又 は契約者 氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	敷地	城南二丁目 4番6号 地先	学校 敷地		m ² 19.3	—	免除	R5.4.1 ～ R15.3.31	藤枝市長	普通河川 占用 (北通用門) 橋梁
2	土地	敷地	立花三丁目 14番地1号 地先	学校 敷地		m ² 16.8	—	免除	R5.4.1 ～ R15.3.31	藤枝市長	普通河川 占用 (弓道場前) 橋梁
3	土地	敷地	城南二丁目 6-59 地先	学校 敷地		m ² 13.92	—	免除	H31.4.1 ～ R11.3.31	藤枝市長	普通河川 占用 (敷地南東) 橋梁
4	土地	敷地	城南二丁目 6-57 地先	学校 敷地		m ² 9.28	—	免除	H31.4.1 ～ R11.3.31	藤枝市長	普通河川 占用 (敷地北東) 橋梁
5	土地	敷地	立花三丁目 15-2 地先	学校 敷地		m 39.33	—	免除	H31.4.1 ～ R11.3.31	藤枝市長	準用河川 占用 (六間川) 電気菅類
6	工作物	雑工作物	立花三丁目 14番地1号 地先			個 2.00	—	無償	R7.4.1 ～ R8.3.31	静岡県立 藤枝西高 等学校 PTA	防矢ネット
7	工作物	雑工作物	城南二丁目 4番6号 地先			個 1.00	—	無償	R7.4.1 ～ R8.3.31	静岡県立 藤枝西高 等学校 PTA	野球部 カントポート
8	工作物	冷暖房 装置	城南二丁目 4番6号 地先			式 1.00	—	711, 131	R3.7.1 ～ R16.6.30	三井住友 ファイナンス& リース(株)	普通教室 空調機
9	工作物	冷暖房 装置	城南二丁目 4番6号 地先			式 1.00	—	4, 398, 055	R6.7.1 ～ R19.6.30	NTT・ TCリース(株) 静岡支店	特別教室 空調機
10	工作物	雑工作物	城南二丁目 4番6号 地先			基 15.00	—	無償	R7.4.1 ～ R8.3.31	静岡県立 藤枝西高 等学校 PTA	プロジェクト
	計							5, 109, 186			

□□□□□□

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年7月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	藤枝市城南2-4-6	学校敷地	学校敷地	本柱7本 支線4本 ㎡	1,500	16,500	R4.4.1 R9.3.31	西日本電信電話(株)静岡支店長	公共通信用
2	土地	学校敷地	藤枝市城南2-4-6	学校敷地	学校敷地	電柱2本 支線3本 ㎡	1,500	7,500	R4.4.1 R9.3.31	中部電力パワーグリッド(株)静岡支社 藤枝営業所	電力供給
3	建物	学校敷地	藤枝市城南2-4-6	RC3階	RC3階	㎡ 0.16	免除	免除	R4.4.1 R9.3.31	藤枝市長	防災無線設備 同報無線受信機
4	土地	学校敷地	藤枝市城南2-4-6	学校敷地	学校敷地	㎡ 0.14	免除	免除	R4.4.1 R9.3.31	藤枝市長	避難地表示板
5	土地	学校敷地	藤枝市城南2-4-6	学校敷地	学校敷地	㎡ 1.09	免除	免除	R7.4.1 R8.3.31	静岡県立藤枝西高等学校PTA会長	野球 カントポ-ト
6	建物	事務所建	藤枝市城南2-4-6	RC4階	RC4階	㎡ 4.00		248,600	R6.4.1 R9.3.31	ダイ-ト-リック(株)東海営業部	自動販売機
7	土地	学校敷地	藤枝市城南2-4-6	学校敷地	学校敷地	㎡ 4.00		651,333	R6.4.1 R9.3.31	サントリー-ヒ-パレッシ-ソリュ-ション(株)	自動販売機
8	建物	事務所建	藤枝市城南2-4-6	RC3階	RC3階	㎡ 3.30	免除	免除	R7.4.1 R10.3.31	静岡県立藤枝西高等学校PTA会長	団体職員 執務場所 駐車場 事務
	土地	学校敷地	藤枝市城南2-4-6	学校敷地	学校敷地	㎡ 9.90					
9	建物	事務所建	藤枝市城南2-4-6	SRC2階	SRC2階	㎡ 0.27	免除	免除	R7.4.1 R12.3.31	藤枝市長	海抜・浜岡原発までの距離表示看板
10	建物	事務所建	藤枝市城南2-4-6	RC3階	RC3階	㎡ 3.30	免除	免除	R5.4.1 R8.3.31	静岡県立藤枝西高等学校PTA会長	団体職員 執務場所 駐車場 司書
	土地	学校敷地	藤枝市城南2-4-6	学校敷地	学校敷地	㎡ 9.90					
11	土地	学校敷地	藤枝市城南2-4-6	学校敷地	学校敷地	㎡ 50.52	免除	免除	R5.4.1 R10.3.31	藤枝西高等学校野球部父母会	防球ネット
12	土地	学校敷地	藤枝市立花3-14-1他	学校敷地	学校敷地	㎡ 16.10	免除	免除	R7.4.1 R8.3.31	静岡県立藤枝西高等学校PTA会長	弓道場防矢ネット
13	建物	事務所建	藤枝市城南2-4-6	RC4階	RC4階	個 15.00	免除	免除	R7.4.1 R8.3.31	静岡県立藤枝西高等学校PTA会長	プロジェクト
14	土地	学校敷地	藤枝市立花3-14-1他	学校敷地	学校敷地	㎡ 238.07	免除	免除	R4.4.1 R9.3.31	藤枝市長	歩道・認定外道路
15	建物	事務所建	藤枝市城南2-4-6	SRC2階	SRC2階	㎡ 6.00	免除	免除	R7.4.1 R10.3.31	静岡県立藤枝西高等学校PTA会長	昼食販売所
16	土地	学校敷地	藤枝市立花3-14-1	学校敷地	学校敷地	㎡ 0.72	免除	免除	R6.4.1 R11.3.31	藤枝警察署長	信号柱
合計								923,933			

□□□□□□□□

主要備品調

(令和7年7月31日現在)

整理	区 分		品 名・規 格	利 用 状 況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	3-3	その他の視覚用再生用機器	集中制御視聴覚システムコントロール卓・AV機器	視聴覚教室1 視聴覚教育用 毎日(年間100日)	12.3	9,334,500
2	1-11	その他の照明器具	照明装置・調光装置・ 機器昇降機	体育館ステージ上 年間20日	12.3	1,549,999
3	10-7	鍵盤楽器	サイレントアンサンブルピアノ ヤマハYU5WN	音楽室 授業用 毎日(年間200日)	12.3	1,377,600
4	10-7	鍵盤楽器	グランドピアノ 88鍵ヤマハC5B	レッスン室1 授業用 毎日(年間100日)	2.9	1,300,000
5	10-10	天文学用器具	プラネタリウムドーム ヤガミ YPD-1H	地学教室 天体授業時に使用 年間1日	12.3	1,260,000
6	3-3	プロジェクター	プロジェクター パナソニック DLP方式 6,000lm	情報管理室 授業用 年3回	25.7	987,000
7	7-1	その他の農産用機器	乗用芝刈機 R216 2WD	グラウンド 年間50日	31.3	937,980
8	1-4	その他の収納保管庫	収納ユニット スチール製4連	化学準備室 器具等保管整理用 毎日(年間200日)	12.3	858,480
9	10-7	鍵盤楽器	グランドピアノ ヤマハA1L	レッスン室3 授業用 毎日(年間200日)	12.3	839,475
10	10-7	鍵盤楽器	グランドピアノ ヤマハA1L	レッスン室2 授業用 毎日(年間200日)	12.3	839,475
11	10-12	サッカー用器具	サッカーゴール アルミ製 内寸H2.44mW7.32m	グラウンド、体育授業・部活動用、毎日(年間200日)	12.3	651,000
12	1-2	台	演台	体育館ステージ上 年間20日	12.3	600,000
13	3-3	その他の視覚用再生用機器	視聴覚室スクリーン	視聴覚教室1 視聴覚教育用 毎日(年間200日)	12.3	577,500
14	2-1	その他の情報処理機器	校内LANサーバー一式	パソコン室 情報処理教育 毎日(年間200日)	29.3	529,308
15	10-7	打楽器	打楽器 スタンダードジェネレーション	視聴覚準備室 週3回	1.9	480,060
16	1-4	その他の収納保管庫	レクチャー卓	視聴覚教室1 視聴覚教育用 毎日(年間100日)	12.3	480,000
17	10-7	管楽器	バスクラリネット	視聴覚準備室 週3回	16.3	474,947
18	10-6	教育調理器具	教育調理器具 教師用調理台	調理室 家庭教育用 年間24日	11.11	462,000
19	12-1	雑機器	移動式散水機 散水台車HD-405	グラウンド 散水用 年間100日	13.9	433,440
20	10-6	教育調理器具			11.11	388,500

□□□□□

職 員 調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務 年数	摘 要
1	校 長	竹村 祐		□□□	年 月 □ . □	□□□
2	副 校 長	和田 めぐみ		□□□	□ . □	□□□
3	教 頭	平林 朋之	国語	□□□	□ . □	□□□
4	事 務 長	新美 貴弘	事務総括	□□□	□ . □	□□□
5	教 諭	大多和 遥	国語	□□□	□ . □	□□□
6	教 諭	落合 幹子	国語	□□□	□ . □	□□□
7	教 諭	菊川 香保里	国語	□□□	□ . □	□□□
8	教 諭	小関 淳	国語	□□□	□ . □	□□□
9	教 諭	村松 実歩	国語	□□□	□ . □	□□□
10	教 諭	東 博倫	地歴公民	□□□	□ . □	□□□
11	教 諭	石神 俊彦	地歴公民	□□□	□ . □	□□□
12	教 諭	掛本 健太	地歴公民	□□□	□ . □	□□□
13	教 諭	小長谷 洋之	地歴公民	□□□	□ . □	□□□
14	教 諭	深田 祐文	地歴公民	□□□	□ . □	□□□
15	教 諭	佐藤 瑠美	地歴公民	□□□	□ . □	□□□
16	教 諭	市川 皓基	数学	□□□	□ . □	□□□
17	教 諭	加藤 隼人	数学	□□□	□ . □	□□□
18	教 諭	平井 康仁	数学	□□□	□ . □	□□□
19	教 諭	松本 寧	数学	□□□	□ . □	□□□
20	教 諭	山田 康太	数学	□□□	□ . □	□□□
21	教 諭	青島 加苗	理科	□□□	□ . □	□□□
22	教 諭	加藤 稜涼	理科	□□□	□ . □	□□□
23	教 諭	福世 浩二	理科	□□□	□ . □	□□□
24	教 諭	古堅 逸勢	理科	□□□	□ . □	□□□
25	教 諭	岩間 秀樹	保健体育	□□□	□ . □	□□□

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務 年数	摘 要
26	教 諭	小澤 竜彦	保健体育	□□□	年 月 □ . □	□□□
27	教 諭	相馬 康人	保健体育	□□□	□ . □	□□□
28	教 諭	戸本 浩史	保健体育	□□□	□ . □	□□□
29	教 諭	新美 ひかる	保健体育	□□□	□ . □	□□□
30	教 諭	井鍋 淳一	英語	□□□	□ . □	□□□
31	教 諭	岩瀬 美帆	英語	□□□	□ . □	□□□
32	教 諭	植原 桃子	英語	□□□	□ . □	□□□
33	教 諭	楠木 美帆	英語	□□□	□ . □	□□□
34	教 諭	小林 則子	英語	□□□	□ . □	□□□
35	教 諭	鈴木 啓介	英語	□□□	□ . □	□□□
36	教 諭	藤田 真由美	英語	□□□	□ . □	□□□
37	養護教諭	小原 亜季	養護	□□□	□ . □	□□□
38	実習助手	望月 瞳	理科	□□□	□ . □	□□□
39	主 査	小林 このみ	会計・管財・庶務	□□□	□ . □	□□□
40	主 任	鈴木 麻美	会計・庶務	□□□	□ . □	□□□
平均年数					2 . 11	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	会計年度任用職員	高橋 宏昭	保健体育	□□□	年 月 □ . □	高二級
2	会計年度任用職員	藤沢 晃稀	数学・情報	□□□	□ . □	高一種 非常勤講師
3	会計年度任用職員	及川 真有美	美術	□□□	□ . □	高二級 非常勤講師
4	会計年度任用職員	殿岡 真衣	音楽	□□□	□ . □	高一種 非常勤講師
5	会計年度任用職員	南條 昌子	家庭	□□□	□ . □	高二級 非常勤講師
6	会計年度任用職員	清水 千穂子	書道	□□□	□ . □	高一種 非常勤講師
7	会計年度任用職員	井出 博文		□□□	□ . □	高一種 部活動指導員
8	会計年度任用職員	松井 和子		□□□	□ . □	しずおかスポーツ人材バンク認定指導者 部活動指導員
9	会計年度任用職員	三好 旭		□□□	□ . □	しずおかスポーツ人材バンク認定指導者 部活動指導員
9	会計年度任用職員	望月 輝久夫	用務	□□□	□ . □	非常勤労務職員
10	会計年度任用職員	杉山 修一	用務	□□□	□ . □	非常勤労務職員
11	会計年度任用職員	石橋 京子	就学支援金	□□□	□ . □	非常勤嘱託員
12	健康管理医	原田 昇		□□□	□ . □	医師免
13	学校医	大持 寛	内科	□□□	□ . □	医師免
14	学校医	小川 淳	眼科	□□□	□ . □	医師免
15	学校医	天野 肇	耳鼻科	□□□	□ . □	医師免
16	学校歯科医	中右 かよ		□□□	□ . □	歯科医師免
17	学校薬剤師	南 亮志		□□□	□ . □	薬剤師免

□□□□□□□

職 員 の 年 齢 調

(令和7年7月31日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	3	
30歳以上40歳未満	10	
40歳以上50歳未満	4	
50歳以上56歳未満	6	
56歳以上61歳未満	8	
61歳以上	8	
計	39	平均年齢 48.6 歳

□□□□□□□

健康管理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受診状況	受診者数 38人 職員数 39人
受診率	97.4 %
県平均受診率	100.0 %

(1) 未受診の理由

□□□□ □人
□□□□ □人
□□□□ □人

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健康管理区分			人数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要治療	0人
B2		要経過観察	0人
C1	勤務をほぼ平常に行っているが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要治療	0人
C2		要経過観察	0人
D1	平常の勤務でよい。	要治療	14(14)人
D2		要経過観察	9(9)人
D3		医療不要	15(15)人
区分者計			38(38)人
未区分者数			2人
合計			40(40)人

(1) 管理区分A～C2該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア □□□□ □人
イ □□□□ □人
ウ □□□□ □人
エ □□□□
() □人